

学校(本校・分校)の教育目

『ふるさと相島・新宮を愛し、志をもって人生を切り拓くことのできる生徒の育成』

【教育課題】

- ① 自律的な(自ら感じ、考え、判断する)行動
 - ・ 自学力をはじめとした自己調整学習(見直し、行動し、振り返る)力の伸長
 - ・ 満足感や達成感をもたせ自尊心を高める成功体験の積み重ね
 - ・ 生徒が自分で考えて自発的に行動する力の促進
- ② いじめの問題をはじめとした人権意識
 - ・ 「いじめゼロ宣言」に関する様々な取組の根底への人権意識の浸透
 - ・ SNSや言語環境などに対する人権意識の醸成
 - ・ 「いじめの責任」をはじめ、いじめに対する理解と認識の深化
- ③ 学校適応を促す人間関係づくり
 - ・ 生徒間や学級集団における互恵(安全で安心できる)関係の一層の構築
 - ・ 日常的・継続的な活動による、個や集団の人間関係調整力の伸長

【経営課題】

- ① 授業改善・学力向上に係る対策の充実
 - ・ 基本的な指導技術(問、発問、指示等)や基礎・基本の定着を図る取組の向上
 - ・ 自己調整学習の定着を図る主題研究の推進
 - ・ 挑戦の問題の質の向上、挑戦の問題を活用した授業改善の向上
- ② 生徒の関係づくりを図る対策の充実
 - ・ リレーション活動を土台としたBFC活動や島ガイドの取組のカリキュラム・マネジメント
 - ・ 生徒の実態(含む心の状態)を見取る力、生徒理解、関係づくりに対する教師の資質向上

【令和6年度の重点目標】

ふるさと相島・新宮とつながり、主体的に学び、活動し続ける生徒の育成
～あいさつ・言葉づかい・思いやり・学び舎の『きれい』が魅られる学校～

「確かな学力の定着」

- ① 主題研究(自己調整学習)の促進による授業改善
- ② 基礎・基本の定着を図る取組の強化
- ③ 思考力等を高める「挑戦の問題」の取組の充実

「つながりを生かした学校づくり」
(連携・接続・協働)

- ・ 人権・同和教育の推進
- ・ コミュニティ・スクールの推進

「豊かな心の醸成」

- ① 学校適応を促す取組の充実
- ② 非認知的能力を高める取組の充実
- ③ 互恵関係を育む取組の充実

【目指す生徒像】

- ア 心が「かがやく」生徒(徳)
- イ 学びが「かがやく」生徒(知)
- ウ 笑顔が「かがやく」生徒(体)

【生徒を育てる教師像】

- ア 教職への誇りと情熱をもち、生徒への愛情豊かな教師
- イ 時代の変化に対応し、専門性の向上のために主体的に研鑽する教師
- ウ 目標の達成に向けて、組織の一員として協働する教師

【方策の重点】

- (1) 学校の組織運営力の向上
 - ア 教職員の協働性の向上・教育活動の活性化を図る取組の推進
 - イ 教職員が「チームで力量の向上」を図ることができる組織運営・教育課程編成の促進
- (2) 意図的な人材育成の促進
 - ア 同僚性を生かしたOJTの推進(訊きやすい関係の構築と維持)
 - イ 分校経験の長い職員の知恵を活かしたOJTの推進
 - ウ 教科等研究会をはじめとした校外研修等を活用した積極的なOff-JTの推進
- (3) 新宮町教育委員会が推進する本年度重点課題を踏まえた取組の推進
 - ア 校内・校外研修の効果的な推進による教職員の指導力の向上
 - イ ICT活用による個別最適な学びと協働的な学びの実現
 - ウ 生徒指導上の諸問題の改善に向けた校区小学校や専門スタッフとの連携の強化
- (4) カリキュラム・マネジメントを駆使した人権・同和教育、キャリア教育の推進
 - ア 「いじめゼロ宣言」活動に基づく新宮中校区小中連携による取組の促進
 - イ 新宮中校区小中連携による系統的な人権教育の推進
 - ウ 時代の変化に応じて活動を工夫したキャリア教育の促進
- (5) 生徒の自律的な実践力を育む教育活動の充実
 - ア 多様な価値観を受容する道徳教育の組織的な取組の継続
 - イ 「リレーション活動」におけるスキルを発揮する取組の推進
 - ウ 生徒の主体的に社会に貢献する意識の涵養
- (6) 学力向上を図る教育活動の充実
 - ア 主題研究(自己調整学習)に基づく授業改善の促進
 - イ 「挑戦の問題」を活用した学力向上策の促進
 - ウ 「学びの共同活動」、ICTを活用した授業づくりの継続
- (7) 生徒の学校適応を促進する生徒指導の推進
 - ア 生徒指導主事を中心とするチーム力を活かした学校適応対策の充実
 - イ 新たな不登校生徒を生まない適応支援の強化
- (8) 特別支援教育の協働的な推進
 - ア SCと連携した特別支援教育の視点による見取りとフィードバックによる合理的配慮の充実
 - イ ユニバーサルデザインの視点による環境づくりの継続
- (9) 積極的な教育環境づくりの促進
 - ア 教職員による3S(整理・整頓・清潔)活動の促進
 - イ ICTを効果的に活用できる学校環境整備の促進
 - ウ 安全管理の徹底と計画的な補修・整備の促進
- (10) つながりを生かさずコミュニティ・スクール(CS)の充実
 - ア 働き方改革を踏まえたPTA活動のスリム化と取組の工夫
 - イ 小学校と連携し、地域の「ひと・もの・こと」を生かした学校運営協議会の運営と取組の工夫
 - ウ 生徒の社会貢献活動の広報と活動を支える地域資源の積極的な開発
- (11) 信頼される学校づくりの促進
 - ア 「スクール・コンプライアンスの日」を中心とする不祥事防止の取組の充実
 - イ 学校HPや学校通信等を活用した積極的な情報発信
 - ウ 「CSの日(教育の日)」をはじめとした地域に開かれた学校づくりの推進